

関係団体の取組みに関する課題等について

団体名	課題等について
山形県人権擁護委員連合会	<p>山形県人権擁護委員連合会 高齢者・障がい者委員会では、県内協議会ごとに工夫改善を行い、コロナ禍における活動の在り方を探りながら、地道に活動を続けている。</p> <p>特に、訪問対象となる高齢者施設・障がい者施設などは健康不安を抱える方々が入所あるいは通所されているところであり、対面での啓発活動などは難しい状況が続いている。その中で、施設長や職員との面談などを地道に続けながら、施設内での相談活動などが可能となる時節の到来を待ち続けている。</p> <p>各行政機関、福祉協議会等の会議において、要請のあった場合、人権擁護委員の臨席を認めていただいたり、広報活動の場を提供していただくなどのご支援をいただきたい。</p>
社会福祉法人 山形県社会福祉協議会	<p>コロナウイルス感染拡大の影響により、虐待等を発見できる機会となる見守り活動が対面で行えないなど、早期発見・早期対応が難しくなっている。</p>
山形県精神保健福祉士協会	<p>会員個々では精神保健・医療・福祉分野等で取り組んでいるが、団体としての定期的な大きな活動はなく不定期で研修等を行っているのみである。</p> <p>今後、団体としての活動を検討していきたいと思う。</p>
山形県知的障害者福祉協会	<p>知的障害の方への支援者による虐待が多く発生しており、当団体としても最重要課題として研修会開催等に取り組んでおります。</p> <p>現在、山形県内においても営利企業によるグループホームが設立されている中で密室化や支援の質が懸念されています。</p> <p>県として第三者が介入できる仕組みを検討すべきと考えます。</p>
山形市・県肢体不自由児者父母の会	<p>医療施設に入所させている医療的ケア児を持つ複数の会員から相談・質問があり、現在、コロナ禍で直接面会出来ない中(ガラス越し、タブレット等の画面越し)で気切を覆うガーゼ、首、手等の汚れが気になる。口腔ケアは特に大切と思われる。</p> <p>命の関わる問題であり、自ら訴えが出来ない子どもたちの「声」を聞いてほしい。</p>
山形県警察本部	<p>被害者の緊急避難先が確保できない時があり、対応に苦慮する場合がある。施設等における虐待事案について、テレビ報道等により警察が認知するケースがあり、市町村等で報道前に把握していれば情報共有して欲しい。</p>